

7月行事予定

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 ドリルタイム なかよし給食 子どもの安全対策協 議会総会	2 朝会 教育相談AM	3 朝読書 愛川宿泊体験学習 (5年)	4 きらきら集会 (1年)	5 ドリルタイム クラブ活動 5年生10:30登校	6 わくわくサタデー 横浜国大連携 事業
8 ドリルタイム 個人面談 13:25下校	9 朝会(なわとび) 個人面談 13:25下校 教育相談PM	10 朝読書 代表委員会 ロング休み	11 音楽集会(3年発表) 個人面談 13:25下校	12 ドリルタイム 個人面談 13:25下校	13
15 海の日	16 朝会(なわとび) 教育相談AM	17 朝読書 夏季水泳オリエン テーション	18 集会	19 ドリルタイム 給食終了 大掃除 (1~3年5校時・4~6年6校時)	20
22 特別朝会 受業終了 12:25下校	23 夏季水泳教室 (4年~6年・1・2年、 5・6組)	24 夏季水泳教室 (4~6年・3年)	25 夏季水泳教室 (4年~6年)	26 夏季水泳教室 (4年~6年)	27 縁日と映画の 夕べ
夏季休業 (8/26まで)					
29 夏季水泳教室 (4年~6年)	30 区水泳記録会 (本校会場)	31 区水泳記録会予備日 (本校会場)	8/1	2	3



桜一第18号
令和元年7月1日

桜岡小学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sakuraoka>

少人数学級ってどんなところ?
~育てよう 心のバリアフリー~

学校長 高島 典子

いよいよ夏休みの開始が待ち遠しい7月を迎えました。学校では水泳学習も始まり、プールサイドからの楽しそうな声も聞こえてくるようになりました。さくらっ子たちが元気に水泳学習を行っています。教職員も万が一に備え安全研修を行いました。是非ご家庭でも睡眠・食事・健康観察などに留意していただくと有難いです。どうぞよろしくお願いたします。

また、6月14日(金)~15日(土)4年生が野島青少年研修センターへ宿泊体験学習に行ってきました。「私ね、みんなとお泊りは生まれて初めてなの。私、みんなとお風呂に入るのも初めてなの。」「僕、生まれて初めて包丁をもって、生まれて初めてニンジンやジャガイモを切ったんだ。野島カレーはとってもおいしくできた。」など、さくらっ子たちが笑顔で話してくれました。キャンプファイヤーも大変盛り上がり、心に残る良い体験学習ができたなと嬉しく思いました。ご支援ご協力、誠にありがとうございました。

さて話は変わります。教育界のいわゆる特殊教育が特別支援教育となって久しいですが、一人ひとりの個に応じた教育、個の状況に寄り添った教育という概念が言葉としては普及してきました。インクルーシブ教育、合理的配慮等の言葉をお聞きになった方も多いかと思います。勿論どのお子さんも皆一生懸命生きています。かけがえのない命をもつ一人の人間です。一人ひとりの存在そのものが尊重されるべきです。しかしこの当たり前前のがしっかりと誰の心にも認識されているのかを今一度考えていく必要があるのではないかと考えています。本校には少人数学級の5、6組ありますが、この少人数学級についても偏見や誤解があつてはいけません。正しく理解されることが重要です。

一人のかけがえのない存在としては平等ですが、得意なこと苦手なことはみんな一人ひとり違います。違って当たり前です。様々な個性の中で、少人数の方が落ち着けたり集中できたりして学習の成果が見込まれる児童や、学習のペースや繰り返し学習が個に応じた方がよい児童、また雑音を感じる環境や大勢が苦手な児童もいます。つまり、少人数の学び方の方がその子に合っていると考えられる児童については少人数学級に在籍していることがあります。勉強ができるできないで決めているではありません。本人とご家族にとって小学校時代という非常に貴重な時間をどのように過ごすかということに、最適な選択を考え、少人数学級を選んでいる場合もありますし一般学級を選択している場合もあるのです。基本的には何も変わりません。けれども心のバリアや偏見がある場合、何気ない会話や態度にそれが出てしまうことがあります。

心無い発言に傷つくのは誰もが同じです。みんなさくらっ子の仲間であるはずなのに誰かを傷つけるような発言はそれが誰であろうと慎むべきだと考えます。言葉は心の在り方を表現します。けれどもそれは同時に固定したのではなく、自分の努力や見識で変えることができるものだとも思います。全てのさくらっ子をご家族と教師の愛情を受け、生き生きとそして自己の良さを発揮しながら学校生活を送れることを願っています。

子どもたちの偏見や差別を無くすため、私たち教職員一同さらに認識を高めていくと共に、保護者の方々や地域の方々にもご協力いただき、さくらっ子全てが安心して過ごすことのできる学校づくりを目指していきます。

どうぞよろしくお願いたします。

7月の目標

生活目標 時刻を守ろう
保健目標 夏を健康に過ごそう
給食目標 暑さに負けない食事をしよう

7月の教育相談日

教育相談日は次のとおりです。ご希望される方
はお電話をくださるようお願いいたします。
2日(火)午前・9日(火)午後・16日(火)午前
《受付担当》児童支援専任 大畑・副校長平島
電話:842-2782

閉庁のお知らせ

今年度、8月5日(月)~8月16日(金)を、保護者や地域の方からの問い合わせや転出入などの事務をする日直を置かない学校閉庁日といたします。緊急時に限り、横浜市教育委員会南部学校教育事務所などにおいて対応いたします。(電話番号843-6408)
その他は、閉庁日終了後に再度学校へご連絡ください。キッズについては、直接お問い合わせください。

学校運営協議会について

6月8日、第1回学校運営協議会が行われました。学校の運営方針等をご承認いただくとともに、貴重なご意見や地域に関する情報をいただきましたので、今後の運営に生かしていきたいと考えております。

今年度学校運営協議会の皆様です。(◎会長 ○副会長)

地域・OB ◎山野井正郎氏 ○田野井一雄氏 笠原靖幸氏 阿部勝彦氏 齋藤美津子氏
小野寺祥恵氏 笠原恒二氏 PTA ○奥野智佐之氏
学識経験者 横浜国大副学長 加藤圭司氏 横浜国大教授 渡部匡隆氏
鎌倉女子大教授 高橋正尚氏 別所保育園園長 岡 章太郎氏

登校前、登校中に大きな地震が発生した場合について

まず児童、保護者の方の身の安全の確保を最優先にしてください。その後、状況に応じて自宅、または学校への避難をお願いします。地震はいつ起こるかわかりません、万が一に備え再度ご家庭でお子さんと話し合いやくそく事を決めておくことよいと思います。 ~緊急時対応表(黄色の用紙)を確認ください~

4年 県警・横浜都市発展記念館見学

6月27日(木)に神奈川県警察本部・横浜都市発展記念館に校外学習へ行きました。自分たちの安全はどのように守られているのか、吉田新田はどのように作られたのかなどを実際に見て、聞いて学びを深めました。

わたしは、吉田新田の大きさが横浜スタジアム44個分だと聞いて驚きました。もっと体験は、肩がすぐ痛くなりました。ほくは、県警で通信指令室と、交通管制センターを見ることで、警察の人がどのように働いているのか知ることができました。



4年 宿泊体験学習

6月14日、15日に「野島青少年研修センター」に宿泊体験学習に行き、カニ釣りや野島カリー作り、バードコール作りなど様々な体験をしてきました。「野島 de Force!!」のテーマのもと、学年目標の4つの力を発揮しようと、子どもたちは、自分の役割をしっかりと果たし、大切な仲間たちとかけがえない時間を過ごすことができました。

ほくは実行委員としての役割をがんばりました。式では、みんなの前に出て話す機会があり、宿泊体験学習に行く前の自分と比べて、「実行力」が身に付いたと思いました。でも、「全力」が今の自分には足りないと思ったから、これから身に付けていきたいです。



わたしは、「全力」で取り組む力が身に付いたと思います。宿泊体験学習に行く前は、すぐにあきらめることもあったけれど、いかだづくり体験であきらめずに全力で取り組むことができました。Forceをすこしだけ達成できた気がします。

5年 日産工場見学

5月29日(水)日産追浜自動車工場へ見学に行きました。子どもたちは、予想以上の工場の広さを目を輝かせていました。工場での組み立てや検査の様子を近くで見ることを通して学びを深めることができました。自動車工場働く人たちの工夫や努力を自分たちの目で確かめることができ、充実した一日となりました。



・自動車ができるまでにかかる時間が24時間だと知って驚きました。

・車作りだけでなく、工場周りの環境でも、地球温暖化対策をしていると知りました。



・車の部品を組み立てる様子を見て、ロボットだけでなく人の手でも組み立てていることが分かりました。

大岡川クリーンアップ作戦

「大岡川クリーンアップ実行委員会」主催による「大岡川クリーンアップ事業」が、6月1日に行われました。桜岡小学校からも、たくさんの児童や保護者の方々が参加しました。

当日は、遊歩道のゴミ拾いや雑草抜きをしました。おかしな袋や空き缶などのたくさんのゴミが見つかりました。上大岡連合町内会、大久保最戸連合町内会、各地区の子ども会、上大岡小学校など、たくさんの方々の協力のおかげで、川は見違えるようにきれいになりました。これからも、自分たちでいけたらと感じた一日になりました。



遊歩道には、空き缶がたくさん落ちていました。川の中には、傘などの大きいゴミもあってびっくりしました。

これからは、今までよりも気を付けて、ゴミを落とさないようにしていきたいと思えます。

ゴミ拾いや雑草抜きをしました。掃除をした後は、する前よりもとてもきれいになったので、スッキリした気持ちになりました。川には生き物もたくさんいました。生き物のためにもきれいな川になるといいなと思いました。

よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト

6月21日(金)上大岡の港南区民文化センター(ひまわりの郷)にて、よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト港南区審査会が行われました。港南区21校の代表者が集い、「国際平和のために、自分がやりたいこと」についてスピーチしました。本校からは6年3組大竹里旺さんが出場し、「支える」と題して、自分の思いを会場の人たちに堂々と発表することができました。



正直とても緊張しました。しかし、私なりに練習を頑張ったり、クラスや学年の友達が応援してくれたりしたことで、自分の思いを会場の人たちに伝えることができたと思います。他の学校の代表スピーチには、いじめ、あいさつ、環境問題、ボランティア活動などがありました。どの学校のスピーチも構成や表現方法などいろいろ工夫されていて、学んだことがたくさんありました。今回学んだことを自信に変えて、残りの小学校生活を過ごしていきたいです。

今年度より福祉の専門家である、SSW(スクールソーシャルワーカー)の菅井夏子さんが月に1~2回程度来校していただけることになりました。学校や子どもの様子を見ていただきます。